

# 令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 208

江戸川区立松江第五中学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差						
学年	第3学年			学年	第1学年			第2学年		
年度	国語	数学	合計	年度	国語	数学	英語	国語	数学	GTEC
令和12年度の目標				令和12年度の目標						
令和11年度の目標				令和11年度の目標						
令和10年度の目標				令和10年度の目標						
令和9年度の目標				令和9年度の目標						
令和8年度の目標	+4	+5	+9	令和8年度の目標	+4.2	+3.8	+6.4	+3.0	+8.0	+10.3
令和7年度の結果	+4	+4	+8	令和7年度の結果	+1.6	+3.2	+3.7	+2.3	+6.5	+9.7
令和6年度の結果	+3	+7.5	+10.5	令和6年度の結果	+4.4	+3.6	+7.3	+3.9	+10.2	+11.0
令和5年度の結果	+1	+4	+5	令和5年度の結果						

年度	令和7年度	令和8年度			
内容	成果と課題	目標		目標達成に向けた取組	
学校全体	<p>【成果】全学年において、都・全国の平均を超えていることは成果である。数学と英語に関しては、少人数授業を活用し、学力の底上げがしっかりできていると考える。</p> <p>【課題】各教科とも学年が上がるにつれ、B層からA層への数値変動が見られているが、D層の割合に変化があまり見られないのが課題である。</p>	<p>各クラス、成果のバラつきがあるので、どのクラスも同様な結果を出せるよう、クラスの特長をとらえながら指導を行う。</p> <p>上位層の生徒が理解が難しい生徒に教えられるような授業スタイルを確立し実践する。</p> <p>授業中何もしない生徒、取り組みめない生徒のゼロを継続させる。</p> <p>各教科の調査において東京都、江戸川区よりプラス5ポイント以上の結果を目指す。</p>		<p>◆教師の講話は最小限、生徒の「学び合い」を重視した授業への転換</p> <p>◆全教育活動で読書科との関連性を持たせた探求的な活動の充実</p> <p>◆教員間での授業交流を通じた自主研究授業の実践</p>	
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>《国語》全国平均に比べ、1.6ポイントほど上回っている結果が出た。</li> <li>《数学》本校のAB層の合計は52.6%であり、A層の割合が一番多い結果である。</li> <li>《英語》全国平均に比べ、3.7ポイントほど上回っている。本校のAB層の合計は58.8%であった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>《国語》平均的な分布にはなっているが、5観点と比較すると、「知識・技能」と「話すこと・聞くこと」の2観点は全国平均同等程度だが、やや正答率が低くなっている。</li> <li>《数学》C層の割合が31.2%、B層が18.2%の結果を受けて、C層の底上げが課題である。</li> <li>《英語》5観点において、全て平均を超えたが、「読むこと」に関しては平均近い状態である。</li> </ul>	<p>各クラス、成果のバラつきがあるので、どのクラスも同様な結果を出せるよう、クラスの特長をとらえながら指導を行う。</p> <p>国・数・英すべての教科において、D層の割合を20%以下にする。その際にC層の割合は25%程度に保つ。(C層を25%以上にならないようにする。)</p> <p>全体的な底上げを目指す。</p>		<p>◆一人1台学習用端末、デジタルドリルの日常的な活用</p> <p>◆エドタブルール等の周知・徹底</p> <p>《CD層およびB層へのアプローチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「たちばなマインド」と「補習・家庭学習との関連を強化</li> <li>◇「ミライシード」の積極的な活用</li> </ul> <p>【支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆「江戸川っ子study week!」の取組</li> <li>☆デジタルドリル/東京ベーシックドリル/MEXCBTの活用</li> <li>☆家庭学習推進のための取組</li> <li>☆エドタブルール、家庭ルール等</li> </ul>	
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>《国語》全国平均に比べ、2ポイントほど上回っている結果が出た。</li> <li>《数学》本校のAB層の合計は61.6%であり、同一母集団の昨年度と比較すると、A層の割合は8.3%上昇した。またA層の割合が最も多く、D層まで順に少なくなっている。</li> <li>《英語》本校のAB層の合計は70.7%であり、同一母集団の昨年度と比較すると、A層の割合は5.9%上昇した。またD層の割合が減少し、学力の底上げができてきていると考える。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>《国語》同一母集団の昨年度と比較すると、A層が減少し、D層が増加したことは課題と捉える。</li> <li>《数学》同一母集団の昨年度と比較すると、A層の割合が増加したもののAB層に変化は見られず、CD層の底上げができていないことが課題である。</li> <li>《英語》数学と同様な傾向が見られる。CD層の底上げが課題である。</li> </ul>	<p>各クラス、成果のバラつきがあるので、どのクラスも同様な結果を出せるよう、クラスの特長をとらえながら指導を行う。</p> <p>国・数・英すべての教科において、D層の割合を20%以下にする。その際にC層の割合は25%程度に保つ。(C層を25%以上にならないようにする。)</p> <p>国語：現状のB層からA層への割合を増やし、移行する。</p> <p>数学：CD層からB層への割合を増やし、移行する。</p> <p>英語：現状をキープする。</p> <p>上位層の生徒が理解が難しい生徒に教えられるような授業スタイルを確立し実践する。</p>		<p>◆一人1台学習用端末、デジタルドリルの日常的な活用</p> <p>◆エドタブルール等の周知・徹底</p> <p>《CD層およびB層へのアプローチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「たちばなマインド」と「補習・家庭学習との関連を強化</li> <li>◇「ミライシード」の積極的な活用</li> </ul> <p>【支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆「江戸川っ子study week!」の取組</li> <li>☆デジタルドリル/東京ベーシックドリル/MEXCBTの活用</li> <li>☆家庭学習推進のための取組</li> <li>☆エドタブルール、家庭ルール等</li> </ul>	
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>《国語》本校のA層の割合は、東京都・全国の結果より高い数値が、B層の割合は都・全国の結果より低い数値が出ている。昨年度の結果と比較するとB層の数値が減少しており、中間層の学力が全体的に伸びたと考えられる。「領域別の結果」においても、都・全国の数値を上回っている。</li> <li>《数学》本校のAB層の合計は59.4%であり、全国と比べると13.4%も高い数値である。またA層の割合が最も多く、D層まで順に少なくなっている。このことから、全国的に見て本校の生徒は学習内容が定着している生徒の割合が多く、学力の二極化が起きていることが分析できる。本校では、習熟度別のクラス編成を行い、「知識・技能」を定着させる取り組みに成果があったと考えられる。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>《数学》都や全国と同様に「知識・技能」よりも「思考・判断・表現」の観点の問題の正答率が低くなっている計算や問題を解けるようにするだけでなく、他者への説明や発表の機会を増やすことが必要だと考える。</li> </ul>	<p>昨年度の良い血管を継続させる。</p> <p>各クラス、比較的成果のバラつきがあるので、どのクラスも同様な結果を出せるよう、クラスの特長をとらえながら指導を行う。</p> <p>国・数・英すべての教科において、D層の割合を20%以下にする。その際にC層の割合は25%程度に保つ。(C層を25%以上にならないようにする。)</p> <p>国語：現状のB層からA層への割合を増やし、移行する。</p> <p>数学：CD層からB層への割合を増やし、移行する。</p> <p>英語：現状をキープする。</p>		<p>◆一人1台学習用端末、デジタルドリルの日常的な活用</p> <p>◆エドタブルール等の周知・徹底</p> <p>《CD層およびB層へのアプローチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「たちばなマインド」と「補習・家庭学習との関連を強化</li> <li>◇「ミライシード」の積極的な活用</li> </ul> <p>【支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆「江戸川っ子study week!」の取組</li> <li>☆デジタルドリル/東京ベーシックドリル/MEXCBTの活用</li> <li>☆家庭学習推進のための取組</li> <li>☆エドタブルール、家庭ルール等</li> </ul>	